

基準 4 内部質保証システム

内部質保証や改善のための体系的な取組みが、参加大学との連携のもとで行われ、機能しているか。

〈優れた取組を抽出する視点の例〉

a) 内部質保証システムの体制

- 学生からの定期的な意見聴取（学生へのアンケート、懇談、レビュー委員会への学生参画等）を実施している。
- 履修状況や学習成果の測定結果等の情報を集積して分析することにより、プログラムのレビューが行われている。
- 参加大学間の連携のもとで、定期的に外部者（助言委員会を含む）によるレビューが行われている。
- 大学の自己点検・評価や認証評価において、当該プログラムの状況についても含めることで、大学全体としての質保証においても考慮されている。
- 当該プログラムの教育内容や学生の学習成果・教育効果の情報を適切な形で公表・発信することにより、社会で広く理解されるようになっている。

b) 改善実績・将来計画

- レビュー結果が参加大学間で共有され、改善へ活用されている。
- レビュー結果が学内の国際関係部署、教育・質保証・評価を担当する部署、学生支援部署等において検討されており、大学として必要な措置が実現されている。
- 国際的な共同教育プログラムを行うことによって、自大学の国際化や他の教育への影響を及ぼすことが意図されており、実際に優れた影響が得られている。
- 公的な資金助成が終了した後にも、プログラムを継続する方策が検討されている。

〈段階判定の尺度と説明〉

尺度	各段階の説明
課題が残っている	・ 教育プログラムのレビューが行われておらず、学生の意見や学生が身につけた学習成果が不明である。 ・ プログラムのレビューが行われていても、その結果が参加大学においてほとんど使われていない。
標準的	・ 学生の意見聴取（授業アンケート含む）や学習成果の把握等を踏まえて、教育プログラムの内部レビューが行われている。プログラムの情報が適切に公表されている。 ・ プログラムのレビュー結果は、参加大学間や自大学の関連部署に伝えられ、その都度の対応がなされている。
進展している	・ 学生との詳細な意見交換や学習成果の測定結果に対する分析を行うとともに、参加大学間でレビューを連携して実施することにより課題を共有している。外部者によるレビューが行われ、分析に基づいた提言を受け、改善に活用している。 ・ レビュー結果を踏まえて、参加大学で連携してプログラムの改善計画を作成している。学内の必要な部署に提供され、フィードバックを得ている。プログラム実施の効果がプログラム参加学生以外にも一部得られている。プログラムの継続計画が検討されている。
優れて進展している	・ 学生との詳細な意見交換や学習成果の測定結果、他大学とのベンチマーク等の各種分析を参加大学で共同して行い、学習成果と学生の経験との関係が分析され、課題が明確化・共有されている。学生のレビュー委員会への参加や、国際的な教育に関する専門性を有する国内外の外部者によるレビュー等、効果的なレビュー方法を実施し、提言を得ている。 ・ レビュー結果を参加大学間でプログラム改善に活用する方法が体系的に整備されて、実際に課題解決が行われている。学内の必要部署と連携するなどして、大学としての対応がなされている。プログラム参加学生以外を含めて大学全体に国際化の効果・影響が得られている。プログラムの継続の体制が確実になっており、定期的見直しが計画されている。